

☆公害による健康被害を許すな！

☆自然環境・生活環境の破壊を許すな！



ひがんばな 画・加納忠

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
 内本町松屋ビル10 370号
 TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121
 E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
 URL http://oskougai.com/
 発行責任者 金谷 邦夫
 年間購読料一部2,000円(送料共)

再生可能エネルギー 100%時代は可能！

第21回 環境学校に 75名参加

9月17日(土) 午前10時から「第21回環境学校」が大阪市内で開催され、75名が参加しました。講演と各分野からの報告の要旨を掲載します。



講演要旨 温暖化防止と再生可能エネルギー普及促進 和田 武氏 (元立命館大学教授・自然エネルギー市民の会代表)

①地球規模の不可逆的破壊を 阻止せねば

現状のペースで温室効果ガスを増加すれば、産業革命前との比較で21世紀末は、気温の上昇最大 4.8℃と予想されています。北極海の氷はここ10年ばかりで半減し、サンゴの白化は世界の1/3に広がっており、世界各地で洪水、干ばつなど異常現象が起きています。さらに北極周辺のツンドラ地帯からのメタン放出が起きていて、メタンはCO₂の20倍の温暖化効果があり、温室効果を加速することになります。大気中のCO₂濃度が上がると海水が酸性の方向にシフトし、石灰化生物の殻が溶けて生きていけなくなります。石灰化生物は、CO₂と海水中のカルシウムから殻をつくることでCO₂を減らす役割をはたしていますが、その生物が



衰退すると大気中のCO₂を増加させてしまいます。また、海の生態系の大絶滅が起こり始めることになります。人類の生存をも脅かす事態です。

②世界は対策強化に舵を切る

去年12月COP21で採択されたパリ協定は、温室効果ガスの削減を世界全体で行っていく合意と、気温上昇を2℃未満はもちろん1.5℃未満も努力目標に加えられました。EUの温室効果ガス削減目標は2030年で90年比40%以上です。ところが日本は18%と低くて、世界から完全に不十分という評価が与えられています。

③原子力発電は危険

100万kW原発をたった1日運転するだけで、放射性物質は広島原爆の3発分を発生させます。1年フル運転すると1,000発分くらい貯まることになります。この莫大な放射能蓄積の一部が漏れ出すだけで重大な影響がでます。また、世界で地震発生地域に原発が集中するのは日本だけ、もし福井の原発

が事故を起こせば風下にある近畿圏は破滅的な影響が出ます。

④ドイツ、デンマークの 再生可能エネルギー普及状況

1990年に比べて2015年時点で、再生可能エネルギーの発電量の割合は、デンマークで21倍、ドイツで11.5倍、ところが日本はそもそも上回っていたにもかかわらず1.7倍と低迷したまま。いかにサボってきたか明らかです。

⑤日本での再生可能エネルギー 100%社会は可能

環境省の資料によると、再生可能エネルギーの発電量を計算すると、4兆5千億kWアワーに匹敵するポテンシャル(潜在的能力)があります。日本の年間発電量は、1兆1千億kWアワーで約4倍のポテンシャルがあることになります。

私たちは、民主国家の主権者です。再生可能エネルギーによって電力の生産者となることができます。さらに電力自由化によって、エネルギーを選択して再生可能エネルギーの消費者になれます。「地球のことを考え、地域で活動しよう」という国際標語に加え「未来のことを考えて、今行動しましょう」

(各分野の報告は次ページ)